

平成22年度  
再処理等資金管理業務に関する事業報告書

自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター

当センターは、平成 17 年 10 月に「原子力発電における使用済燃料の再処理等のための積立金の積立て及び管理に関する法律」（以下「再処理等積立金法」という）の規定による資金管理法人の指定を受け、再処理等資金管理業務を開始し、本年度が 6 年目にあたる。

平成 22 年度は、年間を通じて振幅が大きい運用環境が続く中ではあったものの、「平成 22 年度再処理等資金管理業務に関する事業計画」に基づき、安全確実に運用すべく、的確な業務管理に努めた結果、ほぼ計画どおりの運用を達成することができた。

この再処理等資金管理業務の遂行に当たっては、「資金管理業務に関する情報公開規程」に基づいて、再処理等積立金の管理に関する適切な情報公開に努めるとともに、「資金管理業務に関する倫理規程」に基づき再処理等資金管理業務に携わる役職員の倫理の保持にも注意を払うほか、内部の業務管理体制についても相互に牽制を保持していくなど厳正管理に努めた。

平成 22 年度に実施した再処理等資金管理業務の概況は、次の通りである。

## 1. 再処理等積立金の管理・運用

### (1)平成 22 年度再処理等積立金の管理・運用

平成 22 年度再処理等積立金については、特定実用発電用原子炉設置者(以下「原子炉設置者」という。)から、平成 22 年 7 月に 148,051 百万円、同年 10 月に 147,068 百万円、平成 23 年 1 月、同年 3 月に各々に 145,175 百万円、合計 585,471 百万円の再処理等積立金を受け入れた。その受入額に平成 21 年度末の預金等 166,609 百万円を含めた額から原子炉設置者の取戻額 288,213 百万円を差し引いた 463,867 百万円を原資として、平成 22 年 3 月に策定した運用計画及び平成 22 年 6 月に策定した変更運用計画にしたがって管理・運用を実施した。

平成 22 年度の金融情勢は、世界経済が前年からの回復基調を継続しつつも、世界的な財政出動による景気の下支え効果が夏頃に剥落したことなどにより、景気の伸びが鈍化したことから緩和傾向となり、長期金利は 10 月に一時 0.8%台となる場面もあった。しかし、その後は米国金利の上昇などを受けて一転して国内金利は上昇し、3 月に東日本大震災があったものの、一貫して 1.2%から 1.3%の間で推移した。このように年間を通じては振幅が大きい運用環境であったが、ほぼ計画どおり長期国債、超長期国債及び政府保証債を中心に運用することができた。

この結果、平成 22 年度においては、304,617 百万円の債券(国債及び政府保証債)を購入し、同年度末における債券運用残高は、別表のとおり、2,267,748 百万円となった。また、平成 22 年度の運用利息は、36,058 百万円、年度末の債券平均最終利回りは 1.67%、預金利回り

(大口定期預金、譲渡性預金他)は0.11%となった。

以上の結果、平成22年度末の再処理等積立金運用残高は別表のとおり前年度末より297,258百万円増加の2,441,589百万円となった。

## (2)平成23年度再処理等積立金運用計画の策定

平成23年度再処理等積立金運用方針については再処理等積立金運用委員会の審議を経て、運用計画を策定した。

平成23年度においても、前年度と同様、運用方針の基本的考え方である「①元本確保を前提とした安全確実な運用、②運用利回りの確保、③市場への影響が生じないように配慮した運用、④各社ごとに平等な取扱い、⑤運用・管理コスト面に配慮した運用」にしたがって、的確な管理・運用に努めることとした。平成23年度積立分運用債券の銘柄構成については、平成22年度と同様、10年国債中心で運用し、20年国債及び10年政府保証債を組み入れることとした。

## (3)再処理等積立金運用委員会の開催

平成22年6月に第10回再処理等積立金運用委員会を開催し、「平成21運用年度再処理等積立金運用実績(平成22年4月末実績及び平成22年6月末見込)」の報告、「平成22運用年度再処理等積立金運用方針及び計画」の審議を行った。

また、平成23年2月には第11回再処理等積立金運用委員会を開催し、「再処理等積立金運用実績(平成21運用年度実績及び平成22運用年度末見込)」の報告及び「平成23年度再処理等積立金運用方針に関する検討」「再処理等資金管理業務実施細目の改正」の審議を行った。

## 2.再処理等積立金の支出確認、取戻し及び利息の払渡しへの対応

### (1)平成 21 年度の取戻額に対する支出確認

平成 21 年度の原子炉設置者への再処理等積立金取戻額 273,359 百万円について、全額再処理等に要する費用に支出されていることを確認した。

### (2)平成 22 年度の原子炉設置者の取戻し

原子炉設置者が経済産業大臣から承認を受けた再処理等積立金の取戻しに関し、第 1 回目として平成 22 年 5 月に 71,353 百万円、第 2 回目として同年 8 月に 72,787 百万円、第 3 回目として同年 11 月に 71,550 百万円、第 4 回目として平成 23 年 2 月に 72,521 百万円、合計 288,213 百万円の取戻しについて、原子炉設置者の請求に基づき支払いを実行した。

### (3)利息の払渡し

再処理等積立金の運用から得た利息については、原子炉設置者に対して、債券利息(国債及び政府保証債の利息)34,321百万円及び預金利息(大口定期預金、譲渡性預金他の利息)127百万円、合計34,448百万円の利息払渡しを実行した。

注)本事業報告書中の記載金額は、単位未満を切り捨てて表示している  
るので、合計等とは端数において合致しないものがある。

## 再処理等積立金残高及び運用状況

## 1. 再処理等積立金残高

## ◎平成22年度積立金残高増減実績表

	残高(前年度末) 百万円	増 加 百万円	減 少 百万円	残高(当年度末) 百万円
積立金受入	3,472,997	585,471	0	4,058,468
積立金取戻	1,328,666	0	288,213	1,616,879
合 計	2,144,331	585,471	288,213	2,441,589

(注) 百万円未満は切り捨てているので、合計とは端数において合致しないものがある。

## 2. 再処理等積立金運用状況

## ◎平成22年度末積立金資産構成

		簿価金額 百万円	構成比(簿価)	額面金額 百万円	利回り
債 券	超長期国債	522,834	23.1%	523,000	2.15%
	長期国債	1,597,680	70.4%	1,598,000	1.54%
	中短期国債	40,790	1.8%	40,800	1.17%
	政府保証債	106,442	4.7%	107,000	1.49%
	債券合計	2,267,748	100.0%	2,268,800	1.67%
預 金		173,767	—	—	0.11%
運用残高合計		2,441,589			

(注)1 百万円未満は切り捨てているので、合計とは端数において合致しないものがある。

(注)2 運用残高合計には購入債券の経過利息支払額73百万円を含む。

(注)3 債券のうち国債の種別分類は、購入時の満期までの期間によっている。

(注)4 預金は、大口定期預金、譲渡性預金他の合計額。

(注)5 利回りは、平成23年3月末時点の最終利回り(単利)。